2025

情觀勿わら版

9



今月のトピックス

今月の表紙:稲穂(新発田市)

- ▷ 強く、長く続く酪農を目指して ~ 新潟県妙法育成牧場(津南町) ~
- ▷ 令和6年産野菜調査結果 ~新潟県の8品目の出荷量が全国トップ10入り~
- ▷ スマート農業技術活用法に基づく生産方式革新実施計画の認定について ~ 農事組合法人ファーマーズ稲(上越市)~
- ▶ 第2回「地域の環境と食 未来セミナー ~ 有機農業、はじめの一歩 ~」 参加者募集中!
- ▷ 令和8年度農林水産予算概算要求の概要



強く、長く続く酪農を 目指して

-育成牧場の現場から



津南町にある「新潟県妙法育成牧場」を訪問して、職員の皆さんにお話を伺いました。 県の施設である妙法育成牧場では、県内の酪農家から預かった乳牛の放牧、受精卵移植や人工授精による繁殖 などを行っています。また、(一社)中央酪農会議から、酪農教育ファーム認証を受けており、酪農に関する 作業体験なども受け付けています。



妙法育成牧場の概要

毎年5月下旬から11月上旬にかけて、妙法育成牧場での放牧が行われます。県内の酪農家から預かった生後6カ月以上の乳用育成雌牛を3群に分け、約102ヘクタールの広大な放牧地に、天候に関係なく24時間放牧します。

取材に伺った日は103頭の牛が放牧されていて、 広い放牧地の中に群れが点在し、のんびりと牧草を 食べて過ごしていました。傾斜が大きく広い放牧地 を日々移動しながら、栄養価の高い新鮮な牧草を食 べた牛は、足腰が強く丈夫な体に育ちます。

牧場は積雪平均3メートル、多い年では5メートル の豪雪地帯にあるため、牛は11月中旬から、雪が 溶けきる翌春まで畜舎で過ごします。

牛たちが放牧の春~秋、畜舎での冬を過ごす中で、 受精卵移植や人工授精が行われます。最大18カ月 間妙法育成牧場での生活を送ったのちに初妊牛とし て預託農家のもとへ帰っていきます。

酪農教育ファームとしての活動

妙法育成牧場では牛の育成のほかに、酪農教育 ファームとしての活動に取り組んでいます。学校や 教育機関と連携し、毎年、小学生などを対象とした 飼育作業体験や、農業大学校生の校外研修などを受 け入れています。また、近年の産業獣医師不足を受 けて、今年度は獣医師を目指す高校生に獣医師の業 務を体験してもらうインターンシップも行いました。 新潟県内の酪農家戸数は減少の一途を辿っています。 今年2月に約120戸だった酪農家は、7月には約 100戸まで著しく減少しました。 酪農教育ファー ムとして作業体験などをした生徒・学生に対して、 場長代理の小川さんは、「将来獣医師になったり畜 産に関わる仕事に進んでくれたら嬉しいが、まずは 畜産に興味を持ってもらいたい。学校で飲む牛乳や いつも食べている肉が、ここでの体験とリンクして、 日々の生活の中で畜産を意識してくれたら嬉し い。」と話していました。

【統計情報】令和6年産野菜調査結果

~ 新潟県の8品目の出荷量が全国トップ10入り~



令和6年産野菜調査結果(概数値)によると、新潟県で生産された野菜の中で「**だいこん、かぶ、さといも、ふき、カリフラワー、そらまめ、えだまめ、すいか**」の8品目で出荷量が全国順位トップ10入りしています。

表 令和6年産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量(新潟県)

品目	作付面積	収 穫 量		全国順位		
			出荷量	作付面積	収獲量	出荷量
	ha	t	t	位	位	位
根 菜 類 だいこん	1, 220	39, 100	32,300	6	8	8
か ぶ	95	2, 120	1,740	10	10	9
に ん じ ん ご ぼ う	204	4, 320	3, 760	12 nc	13 nc	13 nc
れんこん				nc	nc	nc
ばれいしょ				nc	nc	nc
さ と い も やまのいも	516	5, 470	3, 650	4 nc	6 nc	7 nc
				iic	IIC	пс
	330	5,060	2,730	13	23	24
こまっな	106	1, 220	915	16	17	18
キャベツ	•••	•••	•••	nc	nc	nc
ちんげんさい ほうれんそう		•••	•••	nc nc	nc nc	nc nc
ふ き	15	89	79	7	9	8
み っ ば				nc	nc	nc
しゅんぎく	25	290	213	18	16	17
み ず な セルリー			•••	nc nc	nc nc	nc nc
セ ル リ ー アスパラガス	189	684	600	7	12	12
カリフラワー	85	1, 110	900	6	$\overline{7}$	7
ブロッコリー	•••	•••	•••	nc	nc	nc
レ タ ス ね ぎ	 539	7, 900	 6, 290	nc 13	nc 15	nc 17
ね ぎ に ら		1, 900	0, 290	nc	nc	nc
たまねぎ				nc	nc	nc
にんにく		•••		nc	nc	nc
果 菜 類				7	0.1	0.4
きゅうり	365	7, 910	5, 440	7 10	21 9	24 11
かぼちゃな	243 430	2, 840 8, 820	1, 330 4, 400	2	8	13
h	345	9, 040	6, 780	$\overline{7}$	21	22
ピーマン	60	447	373	17	26	23
スイートコーン	372	3,690	2, 200	14 19	11 22	13 21
さやいんげん さやえんどう	74 58	353 228	208 50	13	22	24
グリーンピース				nc	nc	nc
そらまめ	40	440	311	9	6	<u>6</u>
えだまめ	1,400	3, 500	2,500	1	7	7
香辛野菜 しょうが				nc	nc	nc
果 実 的 野 菜 い ち ご	80	1,660	1,560	21	21	20
メロン		16 200	14 000	nc	nc 6	nc 7
すいか	430	16, 200	14, 900	4	6	

調査品目は、指定野菜14品目(キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、たまねぎ、ばれいしょ、ほうれんそう)及び、指定野菜に準ずる野菜27品目(かぶ、ごぼう、れんこん、やまのいも、こまつな、ちんげんさい、ふき、みつば、しゅんぎく、みずな、セルリー、アスパラガス、カリフラワー、ブロッコリー、にら、にんにく、かぼちゃ、スイートコーン、さやいんげん、さやえんどう、グリーンピース、そらまめ、えだまめ、しょうが、いちご、メロン、すいか)の計41品目。

なお、新潟県で調査を欠く品目は値を「…」で表示、「nc」の表示は計算不能を示す。

資料:農林水産省「令和6年産指定野菜及び指定野菜に準ずる野菜の作付面積、収穫量及び出荷量」 (概数値)を基に北陸農政局新潟県拠点で作成

「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進 に関する法律」に基づく生産方式革新実施計画の認定について

北陸農政局は、農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律(令和6年法律第63号)(以下「スマート農業技術活用促進法」という。)に基づき、「**農事組合法人ファーマーズ稲(上越市)**」から申請された生産方式革新実施計画の認定を行いました。本認定は、同法に基づく生産方式革新実施計画の新潟県における認定第1号となります。

北陸農政局HPプレスリリース

https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/seisan/250828_1.html



<趣 旨>

スマート農業技術活用促進法では、スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな 生産の方式の導入に関する計画(生産方式革新実施計画)を農林水産大臣が認定し、認定を受けた 事業者は、金融・税制等の支援措置を受けることができます。

【農事組合法人ファーマーズ稲】の生産方式革新実施計画の概要

水稲の栽培において、乾田直播方式の面積を拡大し作期分散することで、自動操舵機能付き農機の稼働率の向上を図る。また、栽培管理システムから得られたデータについて、営農指導員と共有することを通じて比較・分析・検討し、ほ場ごとの施肥の適正化や防除、収穫作業等に活用し、収益性の向上を図る。

 北陸
 中山
 自動
 生

 エリア
 間地
 操舵
 管

生産方式革新実施計画の概要

2025年8月28日認定

直播栽培面積割合の拡大による作期分散で自動操舵機能付き農機の作業効率を向上。栽培管理システムで取得したデータの分析によりは場ごとの適正施肥等を行うことで収益性アップ

申請者:

農事組合法人ファーマーズ稲(新潟県上越市)

対象品目:

水稲

スマート農業技術:

自動操舵(トラクター、管理機) 栽培管理システム

新たな生産方式:

乾田直播栽培面積の拡大を通じた作業期間の延 長による自動操舵機能付き農機の稼働率の向上

営農指導員を通じた他の生産者とのデータ共有・ 分析による、ほ場ごとの適正施肥等の実施



第2回「地域の環境と食 未来セミナー ~有機農業、はじめの一歩~」参加者募集中!

北陸農政局では、地域の環境と食を守るための環を広げていくプロジェクト「+みど り計画」の一環として、第2回「地域の環境と食 未来セミナー」を開催します。

◆ 開催日時 : 令和 7年 9月29日(月)16時00分~17時00分

◆ 開催方法 : オンライン (Microsoft Teams)

<参加申込方法>

以下の申込フォームより、氏名、勤務先・所属団体名、連絡先(メールアドレス)等を明記の上、 お申し込みください。1つの通信回線で複数人が視聴する場合は、代表者1名によるお申込みとして ください。その際、代表者以外の方の氏名、勤務先・所属団体名も明記ください。

なお、お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、本イベントの運営及び今後のイベント 等の情報発信以外では利用しません。

<参加申込フォーム>

こちら https://www.contactus.maff.go.ip/i/hokuriku/form/seisan/midoriseminar2.html

申込締切

令和7年9月21日(日)17時00分



お申し込みは

第2回

地域の環境と食 未来セミナー

~有機農業、はじめの一歩~

私たちの生まれ育った、あの場所、この場所。

川のせせらぎ、鳥の羽ばたき、虫の聲。

そんな地域の環境を守るため、農業や食の現場で 今日も頑張っている人たち(=みどりすと)がいます。

北陸農政局では、こうした方々を応援し、その環を広げて いくためのプロジェクト「+みどり計画」をスタートさせました。

今回のセミナーでは、有機農業や自然農法について、 石川県、富山県、福井県で普及・指導を行っている (一社)MOA自然農法文化事業団の細川氏をお迎えし、 有機農業に関心がある、始めてみたいと思う方へ、 心構えや、気を付けるべきことをお話いただきます。 また、自然農法に取り組む農業者の1人としても、 その栽培方法や体験談を語っていただきます。

令和7年9月29日(月) $16:00 \sim 17:00$

お問合せ:北陸農政局「+みどり計画」事務局(環境・技術課内) 076-232-4131(渕上、長田、首藤)

ほそかわ ひろき 細川 洋幹 さん

般社団法人 MOA自然農法文化事業団 北陸支所長







参加登録はこちら▶ (◯ 北陸農政局 +みどり計画

令和8年度農林水産予算概算要求の概要について

~米の需要に応じた増産実現予算~

令和8年度農林水産予算の概算要求の概要が公表されました。

新たな食料・農業・農村基本計画や現下の米をめぐる情勢を踏まえ、農業構造転換集中 対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、農業の持続的な発展、農村の振興、環 境と調和の取れた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の 持続可能な成長を実現するための予算を要求します。

総額で2兆6,588億円(前年度当初予算比17.1%増)となっています。

詳細は以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

https://www.maff.go.ip/i/budget/r8vokvu.html



編集後記

この時期恒例の「黄金の海」が各地に広がる季節にな りました。

今年の米作りは高温と渇水により、ほ場にひびが入る など影響が出た地域もありましたが、8月上旬に降っ た恵みの雨と、猛暑の中、追加で穂肥を施肥する等、 生産者の努力により良い稲姿になったように思えます。 「黄金の海」から穫れた新米の販売も始まりました。 自然の恵みと生産者の努力に感謝しつつ、味わいたい と思います。



⊠ お問い合わせ



北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様に タイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農 政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。 地域の農業者(地域の担い手や若手農業者、女性農業者など)の方の集まり等で、 「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接 伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点 地方参事官室 〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1 TEL 025-228-5216 ホームページ https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html 新潟県拠点HP はこちら▼

